

# 学びをひろげる (第8回)

## まる (わたしと〇人の会)

日時 2015年1月31(土) (1時45分~5時)  
 場所 都島区民センター (大阪市都島区中野町2-16-25 ☎06-6352-6100)  
 ※府立東高校の道路を隔てた向かい側、都島区役所の隣  
 参加費 500円 (会場費・運営費等) ※学生は、無料です。

一人で拡がらない学びを〇人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



※ 〇は、自分以外の参加した人の数です



地下鉄長堀鶴見緑地線、JR環状線「京橋」下車 徒歩10分  
 JR環状線「桜ノ宮」・東西線「大阪城北詰」下車 徒歩10分  
 地下鉄谷町線「都島」下車 徒歩15分

### 第7回の内容

大阪市立大空小学校の「全校道徳」について話しあいました。創立以来関わってこられた堀智晴さんから、ビデオを映しながらの説明。毎週月曜日の朝、全校生と教職員が体育館に集まり取り組みます。その日は「全校道徳で考えたいテーマは何か」と、校長先生が課題を投げかけ、1~6年生が集まった小グループに分かれて話し合い、その後各グループから話し合った内容を全体に報告します。退場した後各教室に戻って、一人ひとりが自分の意見を書いて提出します。全校道徳は大空小学校の教育・学校運営の中核・屋台骨・土台となっています。

〈意見の交流から〉▼全校道徳の中で、子どもたちは聞く力・話す力・考える力をつけているのではないかな。▼低学年は高学年の姿を見て、話すってこうするのか、聞くってこういうことか、考えるって…と、経験して覚えていくのではないかな。▼大空小の目指す授業を教職員で確かめる場になっている。▼校長さんが、子どもたちだけではなく教職員に、伝えようとしている。▼学び合う授業ではなく、一問一答式の授業も行われている。大空小の課題は、授業にある。▼自分が生徒や教師だったら、道徳の押し付けに感じる。いやだと言えないし、サボれないのでは。▼他の教師や子どもが前に出て進めることはないのか。▼子どもたち・児童会が主催して、企画運営する児童集会をやってみたらどうだろうか。児童会活動はどうなっているのか。▼障害児を1時間でも分けることのない学校であれば、どんなやり方をしているかもわからない。

それぞれに感じるところが大きいあって時間がたりなかった。批判的意見も多く出されたが、障害児も含めて様々な課題を持つ子どもたちが、決して分けられずに共に過ごし、共に学ぶ学校は素晴らしいと思った。大空小の子どもたちはみんな大切にされているから、安心したやわらかい顔をしている、主人公になっているから、自信に満ちた表情をしている、大空小の教師たちは、子どもを信じようとしているから怒鳴らずに子どもに語りかけている、大空小を実際に見た者としてそんな思いを持ちました。ぜひ参観をお勧めします。



研究会の様子

### 今回 第8回は

#### 高校生と学ぶインクルーシブ教育 報告：西山 卓彦さん(府立高校教員)

「12月に大空小学校を紹介したニュースアンカーの映像を使って、インクルーシブ教育とソーシャルインクルージョンについての授業をしたので、生徒の感想を含めてその報告」をしていただきます。

報告をもとに、参加者で、「高校生を対象にした授業・教材づくり、私ならこういう授業をしたい」をワークショップ形式で進めたいと思います。

※自我が確立し社会的関心や興味が深まり、鋭敏な感受性を持つ高校生の時代は、最も主体的な学習に取り組むことができる年代です。しかし、その授業実践を見聞する機会がなかなか持てませんでした。今回をそのスタートにできればと思います。また、大阪の高校の現状も報告・交流できればと考えています。

案内は、ホームページ (<http://manabi-hirogeru.net/>) にも掲載しています。(多くの方の申し込みをお待ちしています) 当日参加もOKです。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎✉gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☎✉yamamoto2.cham-miku@nifty.com) 堀 (☎✉hori720@hotmail.com)

★次回第9回研究会は、2015年3月14日(土) 午後1時45分~5時 クレオおおさか東 で行います★